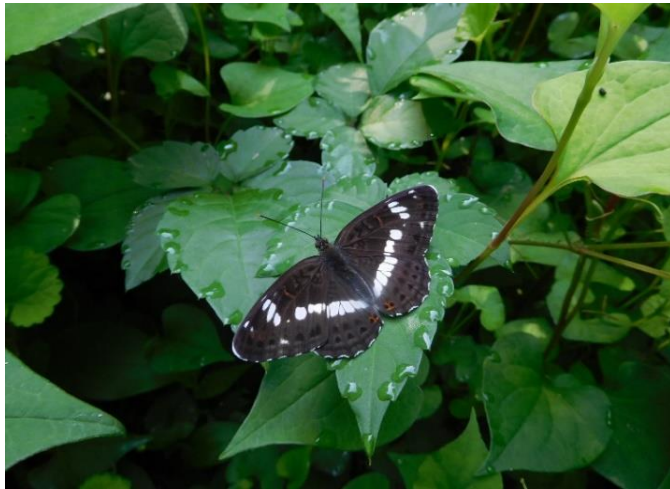
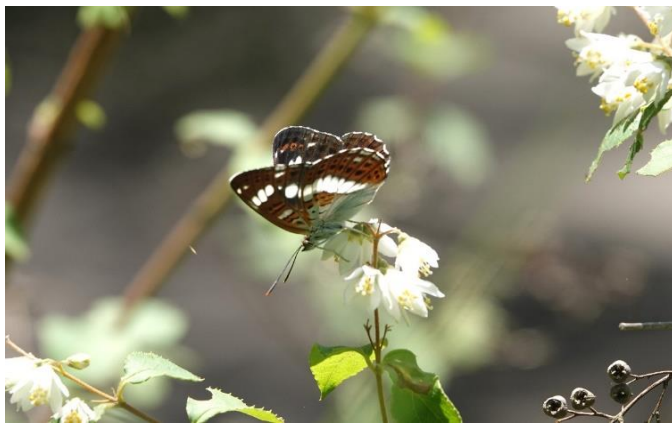


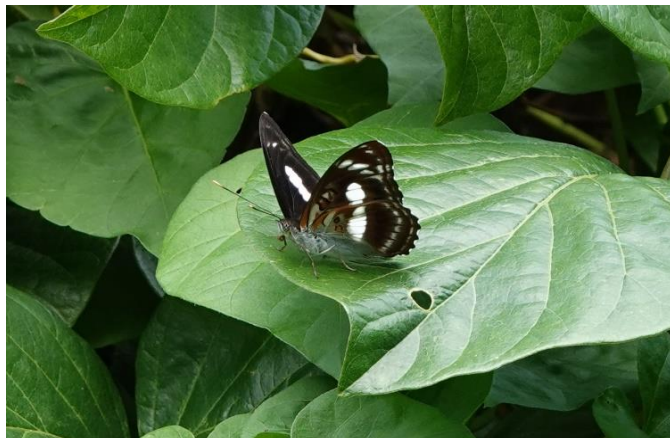
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
イチモンジチョウ	タテハチョウ科	一本スジが通った タテハチョウ	X	X	○	全国



川崎市 5月27日 (2018年)



川崎市 5月23日 (2019年) ウツギで吸蜜



石垣島 (八重山諸島) で見られるヤエヤマイチモンジはオス (左) がイチモンジチョウタイプ、メス (右) がミスジチョウタイプと他にはない羽模様のとおりあわせ (2月中旬 石垣島吉野)
(写真左) ヤエヤマイチモンジ♂。葉上でテリトリーを張る
2月12日 (2020年)

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹						発生回数/年		越冬形態			
スイカズラ、タニウツギほか						3~4		幼虫			

幼虫時代の食樹の関係でハイムや多摩川土手では見られませんが、生田緑地では普通に見られるタテハチョウです。「白い一本の筋が通っている」という羽模様からの命名でハイムでも時々見かけるコミスジとは、白い筋が一本と三本という差があります。また、パタパタ羽ばたいては滑空という気まぐれでいかにも気持ちよさそうなコミスジの飛び方に比べると一般的なタテハチョウのしっかりした飛び方。よく似たアサマイチモンジ、高山蝶のオオイチモンジも併せて、画像で紹介します。

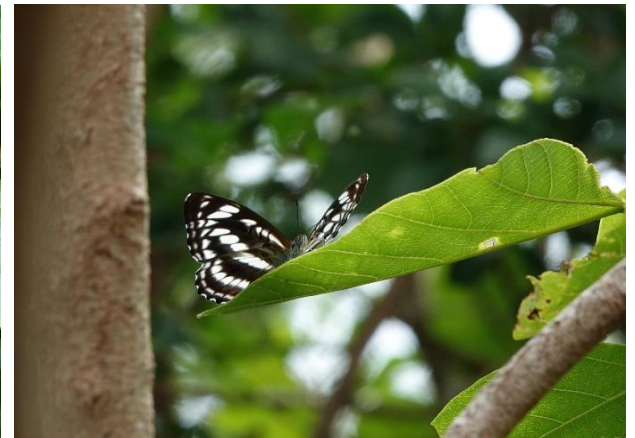


【蝶の名前のつけかたの例】

・サカハチチョウ
(この向きでは逆「八」ではない)

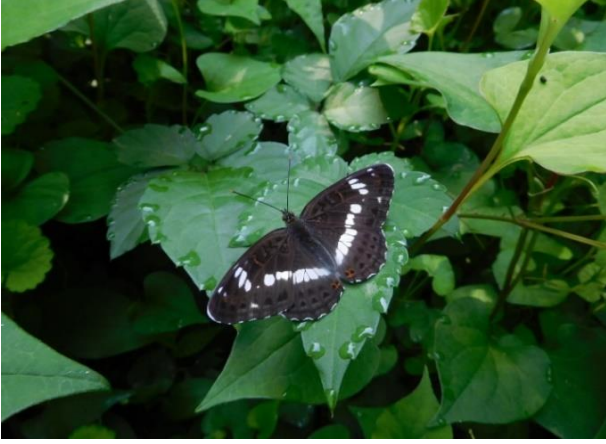


・コミスジ
(白い筋が確かに3本)



(写真右) 同♀。葉上で開張し日光浴
2月12日 (2020年)

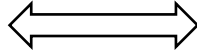
さらに、類似したタテハチョウの紹介 :



イチモンジチョウ 川崎市 5月23日 (2018年)



アサマイチモンジ 川崎市 5月19日 (2019年)
前翅表の付け根部の白い斑が目立つ



↓ オオイチモンジ 高山蝶の王者と呼ばれる大型のイチモンジチョウ 4枚いずれも長野県上高地 7月下旬



↑ オオイチモンジ メス



↑ オオイチモンジ
コムラサキ、ヤマキマダラヒカゲと
獣糞に群がる



↑ オオイチモンジ
梓川河畔を飛翔するオス

→ オオイチモンジ
梓川を背景に手に乗る

